

【記入例：申請書】

(様式1)

番 号
年 月 日

青森県商工労働部新産業創造課長 殿

(所在地) ○○町○○字○○
(団体名) ○○漁業協同組合
(代表者氏名) 組合長 ○○ 印

平成30年度「知財活用地域資源バリューアップ推進事業」の申請について

平成30年度において、知的財産を活用した地域資源のブランド化に取り組むにあたり、標記事業による支援を受けたいので、公募要領の4に基づき、関係書類を添えて承認申請します。

※ 様式2及び様式3を添付 (←文面からは削除)

(様式2)

「平成30年度知財活用地域資源バリューアップ推進事業」実施計画書

1 実施主体

団体名	代表者役職・氏名	構成員数 (関係者数)
〇〇漁業協同組合 ()	組合長 〇〇	〇〇人

※団体の規約・名簿等を添付。また、任意組合の場合は、() 内に任意と記入

2 取組の範囲

- ・ブランド化に取り組む範囲は、〇〇漁協とする。
- ・取組団体は、〇〇漁協に◇◇を出荷している漁業者及びこれを取り扱う仲買事業者、加工業者等とする。

3 取組の実施体制

区分	役職・氏名	取組体制図
総括責任者	〇〇漁協 組合長 〇〇	<p>漁期・品質基準設定</p> <p>管内漁業者 → 出荷 → 漁協施設 (〇〇漁協) → 出荷 → 仲買事業者 → 販売 → 市場・量販店等</p> <p>規格外 → 加工業者 → 販売</p> <p>指導 県・市町村</p>
生産責任者	〇〇漁協 〇〇課長	
販売責任者	〇〇漁協〇〇課 係長 〇〇	

※取組体制が分かる組織図等があれば代用可

4 ブランド化を目指す地域資源（商品等）の概要

地域資源名（商品等）	概 要
〇〇町◇◇	<ul style="list-style-type: none">・当町の◇◇は、柔らかくて美味しいと評判で、〇〇の時期の定番商品となっている。・また、江戸時代から地域を代表する外貨獲得の海産物として、全国的に取引されている。

※地域資源（商品等）が分かる写真、データ等があれば添付のこと

5 現 状

<p>(1) 地域の実情（出荷量・販売額や地域資源のブランド化に取り組む理由など）</p> <ul style="list-style-type: none">・◇◇の出荷量は、約〇〇トン程度で、数年前から横ばい状況。・販売額は約〇〇円で、県内市場では他産地のものより高値で取引されており、ある程度ブランド化されている。・しかし、県外市場では、当町の◇◇が通常取引されている商品と形態等が異なるなどから、消費者等から敬遠される傾向にあり、取引価格が安定していない状況にある。 <p>(2) 地域資源のブランド化協議会等の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none">・〇〇組織（役場、商工会、漁協婦人会等）が、毎年度、当町◇◇の味や料理法を広めるためイベントを開催している。・また、役場と漁協が連携して◇◇の資源管理に向けた検討会を立ち上げる予定。 <p>(3) 地域資源を利用した新たな商品開発等の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・◇◇を素材の良さとブランド力を活かして、地域の食品会社との共同により、◇◇の△△漬けの商品化に取り組んでいる。・また、江戸時代には高級品として取引されていた◇◇の☆☆を使った加工品の再現にチャレンジする予定。 <p>(4) 関係機関の支援状況（ブランド化に向けた県事業等の活用状況）</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度、県の〇〇課が所管する〇〇事業に取り組み、◇◇のブランド化の一環として食品会社と共同で試作品づくりを行った。 <p>(5) その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none">・近年、◇◇の規格外品が海外に高値で輸出されている。
--

6 課題

- ・当町産以外の◇◇が、同町産として市場に出回るなど、近年、類似品の被害が増えてきているので、その対応が課題となっている。
- ・また、◇◇は、現在、ほぼ売り先が決まっているが、将来的な消費動向や漁獲量を増やす計画もあるので、今後、新たな販売先の開拓に取り組んでいく必要がある。

7 目標

- ・「〇〇町◇◇」の名称を商標登録し、イメージ低下となる類似品を排除し、品質の維持・向上を図り、ブランド力を高める。
- ・また、当町産の◇◇が他産地のものと形態等が異なることを強み（知的財産）として明確に差別化し、品質基準を定めてその価値を全国にPRすることで、ブランドの認知度を高め、市場価格の向上や販路拡大に努める。

8 希望する具体的な支援内容（該当項目すべてに○印を付ける）

- ① 知的財産権制度についてのセミナー講師
- ② 地域資源の優位性を活かせる知的財産の発掘・調査
- ③ 知的財産（名称・ロゴマーク等）の権利取得に係る指導・助言
- ④ 知的財産の活用方法（商標の使用基準等）に係る指導・助言
- ⑤ その他（ ）

(様式3)

地域資源のブランド化に係る行動予定表

時 期	内 容	派遣予定
○/○	・ 知的財産講習会の開催	○
○/○	・ 地域資源を活かす知的財産の発掘・調査	○
○/○	・ 知財活用に向けた打合せ	○
○/○	・ 権利取得に向けた地域内関係者の合意形成	○
○/○	・ 権利取得の手続きの指導等	○

【記入例：実績報告書】

(様式4)

番 号
年 月 日

青森県商工労働部新産業創造課長 殿

(所在地) ○○町○○字○○

(団体名) ○○漁業協同組合

(代表者氏名) 組合長 ○○ 印

平成30年度「知財活用地域資源バリューアップ推進事業」の実績報告について

平成○○年○月○日付け青新創第○○号において事業採択を受けた標記事業について、
公募要領の4に基づき、関係書類を添えて事業実績を報告します。

※ 様式2及び様式3を実績報告書に書き換えて添付(←文面からは削除)

(様式2)

「平成30年度知財活用地域資源バリューアップ推進事業」実績報告書

1 実施主体

団体名	代表者役職・氏名	構成員数 (関係者数)
〇〇漁業協同組合 ()	組合長 〇〇	〇〇人

※団体の規約・名簿等を添付。また、任意組合の場合は、() 内に任意と記入

2 取組の範囲

- ・ブランド化に取り組む範囲は、〇〇漁協とする。
- ・取組団体は、〇〇漁協に◇◇を出荷している漁業者及びこれを取り扱う仲買事業者、加工業者等とする。

3 取組の実施体制

区分	役職・氏名	取組体制図
総括責任者	〇〇漁協 組合長 〇〇	
生産責任者	〇〇漁協 〇〇課長	
販売責任者	〇〇漁協〇〇課 係長 〇〇	

※取組体制が分かる組織図等があれば代用可

4 ブランド化を目指す地域資源（商品等）の概要

地域資源名（商品等）	概 要
〇〇町◇◇	<ul style="list-style-type: none">・当町の◇◇は、柔らかくて美味しいと評判で、〇〇の時期の定番商品となっている。・また、江戸時代から地域を代表する外貨獲得の海産物として、全国的に取引されている。

※地域資源（商品等）が分かる写真、データ等があれば添付のこと

5 現 状

<p>(1) 地域の実情（出荷量・販売額や地域資源のブランド化に取り組む理由など）</p> <ul style="list-style-type: none">・◇◇の出荷量は、約〇〇トン程度で、数年前から横ばい状況。・販売額は、約〇〇円で、県内市場では他産地のものより高値で取引されており、ある程度ブランド化されている。・しかし、県外市場では、当町の◇◇が通常取引されている商品と形態等が異なるなどから、消費者等から敬遠される傾向にあり、取引価格が安定していない状況にある。 <p>(2) 地域資源のブランド化協議会等の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none">・〇〇組織（役場、商工会、漁協婦人会等）が、毎年度、当町◇◇の味や料理法を広めるためイベントを開催している。・また、役場と漁協が連携して◇◇の資源管理に向けた検討会を立ち上げる予定。 <p>(3) 地域資源を利用した新たな商品開発等の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・◇◇を素材の良さとブランド力を活かして、地域の食品会社との共同により、◇◇の△△漬けの商品化に取り組んでいる。・また、江戸時代には高級品として取引されていた◇◇の☆☆を使った加工品の再現にチャレンジする予定。 <p>(4) 関係機関の支援状況（ブランド化に向けた県事業等の活用状況）</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度、県の〇〇課が所管する〇〇事業に取り組み、◇◇のブランド化の一環として食品会社と共同で試作品づくりを行った。 <p>(5) その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none">・近年、◇◇の規格外品が海外に高値で輸出されている。

6 課題

- ・当町産以外の◇◇が、同町産として市場に出回るなど、近年、類似品の被害が増えてきているので、その対応が課題となっている。
- ・また、◇◇は、現在、ほぼ売り先が決まっているが、将来的な消費動向や漁獲量を増やす計画もあるので、今後、新たな販売先の開拓に取り組んでいく必要がある。

7 目標

- ・「〇〇町◇◇」の名称を商標登録し、イメージ低下となる類似品を排除し、品質の維持・向上を図り、ブランド力を高める。
- ・また、当町産の◇◇が他産地のものと形態等が異なることを強み（知的財産）として明確に差別化し、品質基準を定めてその価値を全国にPRすることで、ブランドの認知度を高め、市場価格の向上や販路拡大に努める。

8 希望する具体的な支援内容（該当項目すべてに○印を付ける）

- ① 知的財産権制度についてのセミナー講師
- ② 地域資源の優位性を活かせる知的財産の発掘・調査
- ③ 知的財産（名称・ロゴマーク等）の権利取得に係る指導・助言
- ④ 知的財産の活用方法（商標の使用基準等）に係る指導・助言
- ⑤ その他（ ）

9 事業実績

（1）取組内容及び成果等

- ・〇〇弁理士から〇回に渡り商標制度の概要や権利化の手続き（提出書類）等について指導を受けた。
- ・結果として、地域関係者において権利取得の重要性等の認識が高まったほか、地域内の合意形成を図りながら、ブランド基準の設定や地域団体商標の取得に向けた活動計画が策定できた。

（2）今後の展開方向

- ・地域団体商標「〇〇町◇◇」の出願とブランド基準の厳格な運用へ向け、漁業者や仲買人業者への浸透を図り、ブランド力の強化と市場価格の更なる向上を目指す。

(様式3)

地域資源のブランド化に係る行動実績表

時 期	内 容	派遣弁理士等
○/○	・知的財産講習会の開催 (○人)	△△弁理士
○/○	・地域資源を活かす知的財産の発掘・調査 (○人)	△△弁理士
○/○	・知財活用に向けた打合せ (○人)	△△弁理士
○/○	・権利取得に向けた地域内関係者の合意形成(○人)	△△弁理士
○/○	・権利取得の手続きの指導等 (○人)	△△弁理士

<添付資料>

- ・弁理士等派遣時の議事録(概要)
- ・成果の分かる資料 (ブランド基準、商標管理規程など)